

令和元年度 新宮市男女共同参画講演会(悠以さん)講演概要

新宮市では令和元年9月7日、新宮市役所別館においてシンガーソングライターの悠以（ゆい）さんをお迎えし、LGBT トーク&コンサート「自分らしく生きる」をテーマに男女共同参画講演会を開催しました。わかりやすく説得力のある悠以さんのお話しに、来場された約230人の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

また、アンケートも実施し、約80%の方からご協力をいただきました。その中で、「すばらしかった」「トークも良かったし、歌もものすごく上手で良かったです。」などの感想が寄せられています。詳しくは、一覧表のアンケート欄をクリックしていただきますと、アンケート集計結果のPDFファイルがご覧いただけます。



講演会で悠以さんはLGBTのひとつであるトランスジェンダーが性同一性障害であることを紹介した。

「小学校に入学後は全てに違和感があったが、それが何かわからなかった。」

中学生になると、体の成長で「心は女性でも、体は男性。声変わりし、体毛は濃く、気持ちが悪いと思った」と回顧した。中学3年生の頃、「性同一性障害」の言葉を知り、「少しだけ目の前が明るくなった」と述べた。母に相談すると、受け入れてくれた。しかし「いじめがあっても助けられないから我慢なさい。卒業したら好きに生きなさい。」と返された。



高校では担任に告白すると認めてくれて、水泳はレポート提出で可、着替えも保健室で可など配慮してもらうことができた。

新たな名は母が考えてくれて「卒業したら悠以で生活できる」と聞き、目標ができた。卒業式にそれまでの男性名で呼ばれることで、「18年にピリオドを打ち、悠以として新たなスタートを切れた」とほほ笑んだ。

講演後は、歌を披露し、男性と女性の声色を使い分けて、美しい歌声を響かせた。

講演する悠以（ゆい）さん（新宮市役所別館） 令和元年9月7日（土）